

瀬戸内町告示第41号

財政状況の公表に関する条例(昭和47年瀬戸内町条例43号)第2条の規定により、令和元年度決算および令和2年度上半期の財政状況を別紙のとおり公表する。

令和2年11月1日

瀬戸内町長 鎌田 愛人



令和2年度 上半期

財政状況の公表

鹿児島県 瀬戸内町

目 次

財政動向及び財政方針	1
1 令和元年度 決算のあらまし	2
(1) 概要	2
(2) 各会計実質収支の状況	2
(3) 一般会計歳入の状況	8
(4) 一般会計歳出の状況	10
(5) 町債の状況	12
2 令和2年度 上半期財政運営のあらまし	13
(1) 予算の規模	13
(2) 予算の執行状況	15
3 町有財産の状況	17

I 財政動向及び財政方針

本町では、町民の皆様に町財政について正しく理解していただくため、町条例に基づき毎年5月1日及び11月1日の2回、財政状況を公表しています。今回は、令和元年度決算及び令和2年度上半期の財政運営を中心に財政状況を公表します。

本町の財政状況について、一般会計は、令和元年度決算において、前年度に比べ一般廃棄物処理施設建設事業等により衛生費が2億4千5百万円増加、社会資本整備事業の調整等により土木費が4億1千万円減となりました。また、普通建設事業費全体では6千万円の減額となっています。

特別会計は前年度に引き続き各特別会計において赤字決算はありませんでしたが、その内容は一般会計からの多額に上る赤字補てん繰出金による改善です。依然、独立採算の原則に基づく各会計の自立が課題となっています。

本町の財政状況は、これまでの絶え間ない財源確保対策と節減努力等により、着実に健全化が進んでいます。しかしながら、人口減少を起因とする税収等自主財源の伸び悩みと、地方交付税が減少する厳しい状況の中、大型公共施設の更新、既存施設の維持管理費の増大、福祉費の自然増、地方創生関連事業の実施など、拡大・多様化する財政需要に適切かつ柔軟に対応するため、歳入の確保と徹底した歳出の削減を図り、健全で持続可能な財政運営に努めることが求められています。

国の令和2年度の地方財政対策においては、地方が人づくり革命の実現や地方創生の推進、地域社会の維持・再生、防災・減災対策に取り組みつつ、地方が安定的な財政運営を行うために令和元年度の地方水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することを基本としています。

このような状況の中、地域活性化につながる事業には重点的に投資しつつ、全体を平準化する予算編成制度を構築することで「地方創生と財政健全化をバランスよく推進できる持続可能な財政運営」を目指す必要があることから、より一層の経費節減努力と主要事業への重点配分を行うなど、メリハリの効いた予算編成と持続可能な財政運営に努めてまいります。

1 令和元年度決算のあらまし

(1) 概 要

令和元年度の各会計決算総額(水道事業を除く)は、歳入総額14,154,972千円に対し、歳出総額13,507,869千円で、差引647,103千円の黒字となりました。また、翌年度に繰り越すべき財源94,431千円を差し引いた実質収支は552,672千円となっています。

(2) 各会計実質収支の状況

1). 一般会計

一般会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ11,535,861千円に対し、歳入決算額で10,163,233千円、歳出決算額で9,622,340千円となり、前年度に対し歳入決算額で32,433千円、0.3%の減、歳出決算額で57,784千円、0.6%の減となっています。

決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で540,893千円の黒字となり、翌年度へ繰り越すべき財源94,431千円を差し引いた実質収支も446,462千円の黒字となっています。また、本年度の実質収支額から昨年度の実質収支額441,590千円を差し引いた単年度収支額も4,872千円の黒字となっています。この単年度収支額に財政調整基金の積立金220,795千円を加え、取崩額218,222千円を差し引いた、実質単年度収支額も7,445千円の黒字となっています。

(単位：千円)

一 般 会 計						
項目	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
年度	A	B	A-B C	D	C-D E	F
元年度	10,163,233	9,622,340	540,893	94,431	446,462	4,872
30年度	10,195,666	9,680,124	515,542	73,952	441,590	△ 22,940
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
元年度	220,795	0	218,222		7,445	
30年度	232,265	0	106,148		△ 103,177	

2). 巡回診療施設特別会計

巡回診療施設特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ286,375千円に対し、歳入決算額及び歳出決算額は同額の268,502千円となり、前年度に対し歳入歳出決算額で17,585千円、6.1%の減となっています。決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支、実質収支及び単年度収支ともに0円となっています。

(単位：千円)

巡 回 診 療 施 設 特 別 会 計						
項目	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
年度	A	B	A-B C	D	C-D E	F
元年度	268,502	268,502	0		0	0
30年度	286,087	286,087	0		0	0
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
元年度	0	0	0		0	
30年度	0	0	0		0	

3). 国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計(事業勘定)の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ1,314,479千円に対し、歳入決算額で1,281,057千円、歳出決算額で1,273,421千円となり、前年度に対し歳入決算額で18,327千円、1.5%の増、歳出決算額で14,690千円、1.2%の増となっています。決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で7,636千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。単年度収支についても3,637千円の黒字となっています。

次に、国民健康保険特別会計(直営診療勘定)の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ17,733千円に対し、歳入決算額で17,860千円、歳出決算額で16,772千円となり、前年度に対し歳入決算額で1,265千円、7.6%の増、歳出決算額で815千円、5.1%の増となっています。決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で1,088千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。単年度収支についても450千円の黒字となっています。

(単位：千円)

国民健康保険事業勘定							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
	A	B	A-B	C			
元年度	1,281,057	1,273,421	7,636	0	7,636	3,637	
30年度	1,262,730	1,258,731	3,999	0	3,999	△ 5,023	
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
元年度	0	0	0		3,637		
30年度	0	0	0		△ 5,023		

(単位：千円)

国民健康保険直営診療勘定							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
	A	B	A-B	C			
元年度	17,860	16,772	1,088	0	1,088	450	
30年度	16,595	15,957	638	0	638	352	
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
元年度	0	0	0		450		
30年度	0	0	0		352		

4). 介護保険特別会計

介護保険特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ1,434,309千円に対し、歳入決算額で1,438,425千円、歳出決算額で1,368,565千円となり、前年度に対し歳入決算額で19,688千円、1.4%の増、歳出決算額で9,095千円、0.7%の減となっています。
 決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で69,860千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。単年度収支については10,593千円の赤字となっています。

(単位：千円)

介護保険特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引	翌年度に 繰り越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
元年度	1,438,425	1,368,565	69,860	0	69,860	△ 10,593
30年度	1,458,113	1,377,660	80,453	0	80,453	18,795
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I	実質単年度収支 F+G+H-I		
元年度	0	0	0	△ 10,593		
30年度	0	0	0	18,795		

5). 後期高齢者医療事業特別会計

後期高齢者医療事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ112,702千円に対し、歳入決算額で111,070千円、歳出決算額で109,123千円となり、前年度に対し歳入決算額で4,125千円、3.9%の増、歳出決算額で3,631千円、3.4%の増となっています。
 決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で1,947千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。単年度収支についても494千円の黒字となっています。

(単位：千円)

後期高齢者医療事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引	翌年度に 繰り越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
元年度	111,070	109,123	1,947	0	1,947	494
30年度	106,945	105,492	1,453	0	1,453	△ 365
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I	実質単年度収支 F+G+H-I		
元年度	0	0	0	494		
30年度	0	0	0	△ 365		

6). 屠畜場事業特別会計

屠畜場事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ2,392千円に対し、歳入決算額及び歳出決算額は同額の1,987千円となり、前年度に対し歳入歳出決算額で128千円、6.1%の減となっています。主な要因は、一般管理費の減によるものです。

(単位：千円)

屠畜場事業特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
	A	B	A-B	C			
元年度	1,987	1,987	0	0	0	0	0
30年度	2,115	2,115	0	0	0	0	0
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
元年度	0	0	0		0		
30年度	0	0	0		0		

7). 船舶交通事業特別会計

船舶交通事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ360,232千円に対し、歳入決算額で354,556千円、歳出決算額で328,877千円となり、前年度に対し歳入決算額で32,392千円、10.1%の増、歳出決算額で30,267千円、10.1%の増となっています。主な要因は補修費・公債費等にかかる費用の増によるものです。決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で25,679千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。単年度収支についても5,125千円の黒字となっています。

(単位：千円)

船舶交通事業特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
	A	B	A-B	C			
元年度	354,556	328,877	25,679			25,679	5,125
30年度	322,164	298,610	23,554	3,000		20,554	△ 4,487
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
元年度	0	0	0		5,125		
30年度	0	0	0		△ 4,487		

8). 古仁屋港上屋事業特別会計

古仁屋港上屋事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ28,568千円に対し、歳入決算額及び歳出決算額は同額の21,336千円となり、前年度に対し歳入歳出決算額で15,953千円、296.4%の増となっています。主な要因は、船津上屋解体工事によるものです。

(単位：千円)

古仁屋港上屋事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
元年度	21,336	21,336	0	0	0	0
30年度	5,383	5,383	0	0	0	0
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I	実質単年度収支 F+G+H-I		
元年度	0	0		0	0	
30年度	0	0		0	0	

9). 農業集落排水事業特別会計

農業集落排水事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ21,398千円に対し、歳入決算額及び歳出決算額は同額の20,828千円となり、前年度に対し歳入歳出決算額で25,218千円、54.8%の減となっています。主な要因は管路工事費及び中継ポンプ設備工事費の減によるものです。決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支、実質収支及び単年度収支ともに0円となっています。

(単位：千円)

農業集落排水事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
元年度	20,828	20,828	0	0	0	0
30年度	46,046	46,046	0	0	0	0
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I	実質単年度収支 F+G+H-I		
元年度	0	0		0	0	
30年度	0	0		0	0	

10). 簡易水道事業特別会計

簡易水道事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ536,277千円に対し、歳入決算額及び歳出決算額は同額の476,118千円となり、前年度に対し歳入決算額で475,293千円、50.0%の減、歳出決算額で474,293千円、49.9%の減となっています。主な要因は、自衛隊水道施設整備事業の減によるものです。決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支及び単年度集はともに0円となっています。

(単位：千円)

簡易水道事業特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B	C	D	C-D	E
元年度	476,118	476,118		0		0	0
30年度	951,411	950,411		1,000	1,000	0	0
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I	
元年度	0	0			0	0	
30年度	0	0			0	0	

11). 水道事業会計

水道事業会計の収益的収支の決算額は、収入予算額155,199千円に対し決算額154,570千円、支出予算額148,457千円に対し決算額128,809千円で、差し引き25,761千円の当年度純利益を生じています。なお、損益計算書での当年度純利益は15,757千円で、差額の10,004千円は消費税相当分であります。

資本的収支の決算額は、収入予算額2千円に対し決算額0円、支出予算額44,988千円に対し決算額37,687千円で、差し引き37,687千円の収入不足となっています。この不足額につきましては、消費税資本的収支調整額254千円及び当年度損益勘定留保資金37,433千円で補填しています。

(単位：千円)

年度	収益的収入	収益的支出	差 引	資本的収入	資本的支出	差 引
元年度	154,570	128,809	25,761	0	37,687	△ 37,687
30年度	157,259	137,255	20,004	45,400	102,702	△ 57,302

(3) 一般会計歳入の状況

歳入決算額は、調定額11,066,299千円に対し、収入済額は10,163,233千円で、収入率は前年度に対して7.1ポイント減の91.8%となっています。

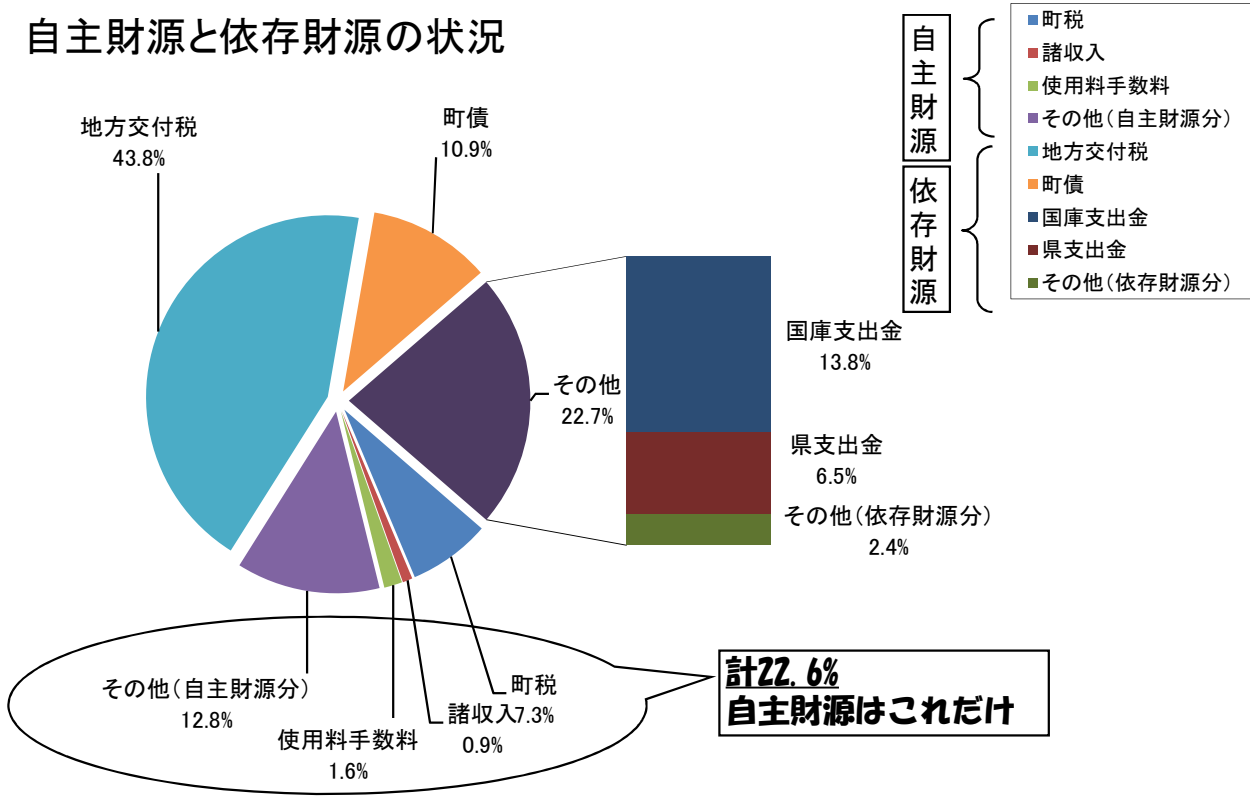
歳入決算額のうち町税や使用料・手数料、繰入・繰越金等の自主財源額は2,299,319千円で、前年度に対し111,469千円、5.1%の増、国庫支出金や地方交付税、町債等の依存財源額は7,863,914千円で、前年度に対して145,286千円、1.8%の減となっています。それぞれの割合は自主財源が22.6%で、前年度に対して0.9ポイントの増、依存財源が77.4%で、前年度に対して0.9ポイントの減となっています。

(歳入決算目的別内訳)

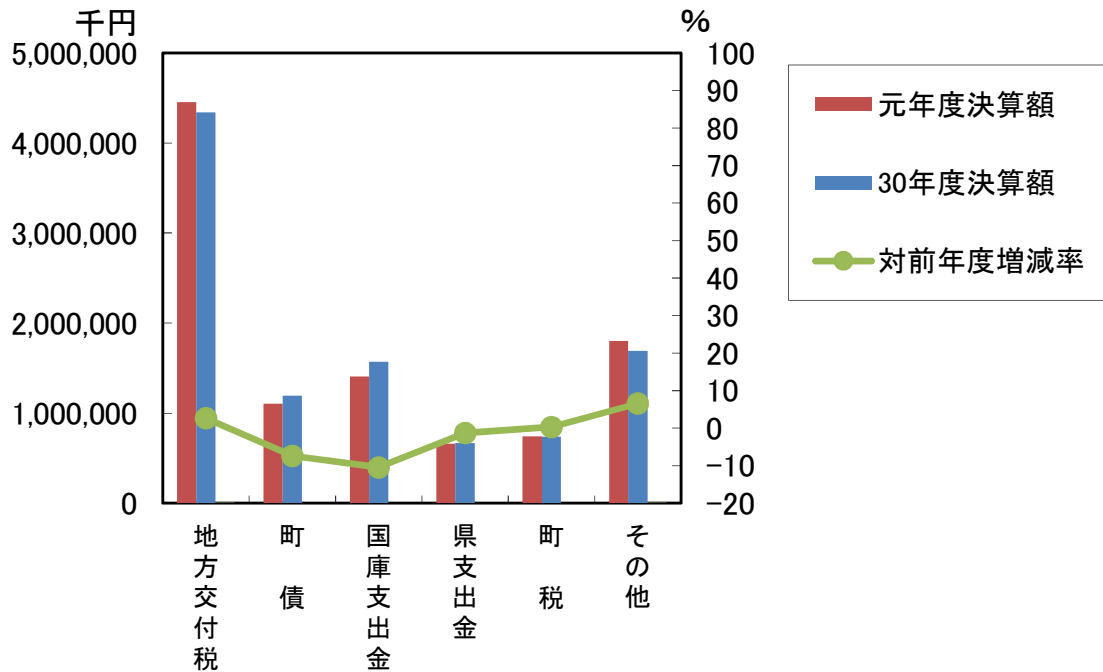
(単位:千円, %)

歳入区分	令和元年度		平成30年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 町 税	740,246	7.3	737,596	7.2	2,650	0.4
2 地 方 譲 与 税	57,073	0.6	55,697	0.5	1,376	2.5
3 利 子 割 交 付 金	508	0.0	1,268	0.0	△ 760	△ 59.9
4 配 当 割 交 付 金	1,546	0.0	1,400	0.0	146	10.4
5 株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金	883	0.0	1,632	0.0	△ 749	△ 45.9
6 地 方 消 費 税 交 付 金	157,736	1.6	167,488	1.6	△ 9,752	△ 5.8
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	4,934	0.0	9,831	0.1	△ 4,897	△ 49.8
8 地 方 特 例 交 付 金	16,396	0.2	1,178	0.0	15,218	1,291.9
9 地 方 交 付 税	4,453,362	43.8	4,338,184	42.5	115,178	2.7
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	793	0.0	720	0.0	73	10.1
11 分 担 金 及 び 負 担 金	24,533	0.2	32,027	0.3	△ 7,494	△ 23.4
12 使 用 料 及 び 手 数 料	165,997	1.6	163,137	1.6	2,860	1.8
13 国 庫 支 出 金	1,406,506	13.8	1,570,377	15.4	△ 163,871	△ 10.4
14 県 支 出 金	656,796	6.5	665,634	6.5	△ 8,838	△ 1.3
15 財 産 収 入	39,807	0.4	39,002	0.4	805	2.1
16 寄 付 金	165,485	1.6	161,235	1.6	4,250	2.6
17 繰 入 金	554,388	5.5	437,589	4.3	116,799	26.7
18 繰 越 金	515,542	5.1	500,332	4.9	15,210	3.0
19 諸 収 入	93,321	0.9	116,932	1.4	△ 23,611	△ 20.2
20 町 債	1,105,997	10.9	1,194,407	11.7	△ 88,410	△ 7.4
21 環 境 性 能 割 交 付 金	1,384	0.0	0	0.0	1,384	100.0
歳 入 合 計	10,163,233	100.0	10,195,666	100.0	△ 32,433	△ 0.3

自主財源と依存財源の状況



令和元年度歳入決算対前年度比較



(4) 一般会計歳出の状況

歳出決算額は、予算額11,535,861千円に対し、支出済額は9,622,340千円で、支出率は前年度に対して7.9ポイント減の83.4%となっています。翌年度繰越額1,544,247千円を差し引いた不用額は369,275千円で、前年度に対し100,226千円の増となっています。

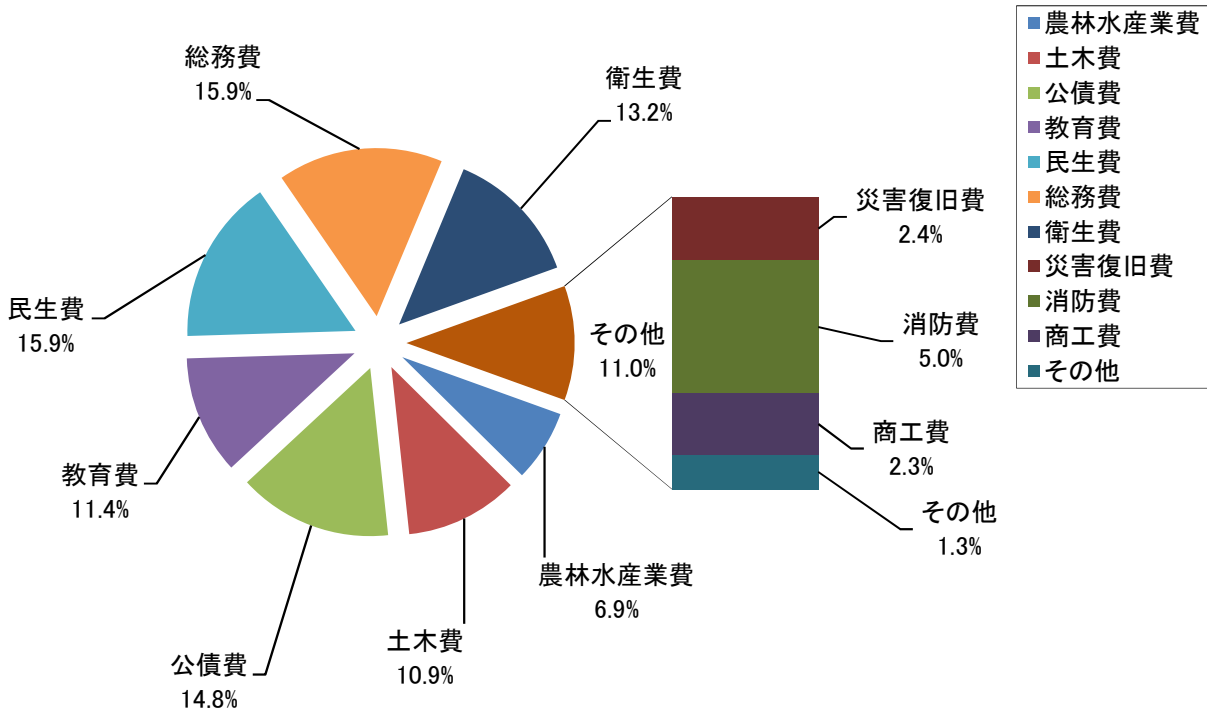
目的別の主な歳出額は、総務費1,527,625千円、民生費1,525,196千円、公債費1,425,230千円、衛生費1,271,421千円、教育費1,098,877千円、土木費1,051,359千円となっており、農林水産業費667,821千円と続いています。

(歳出決算目的別内訳)

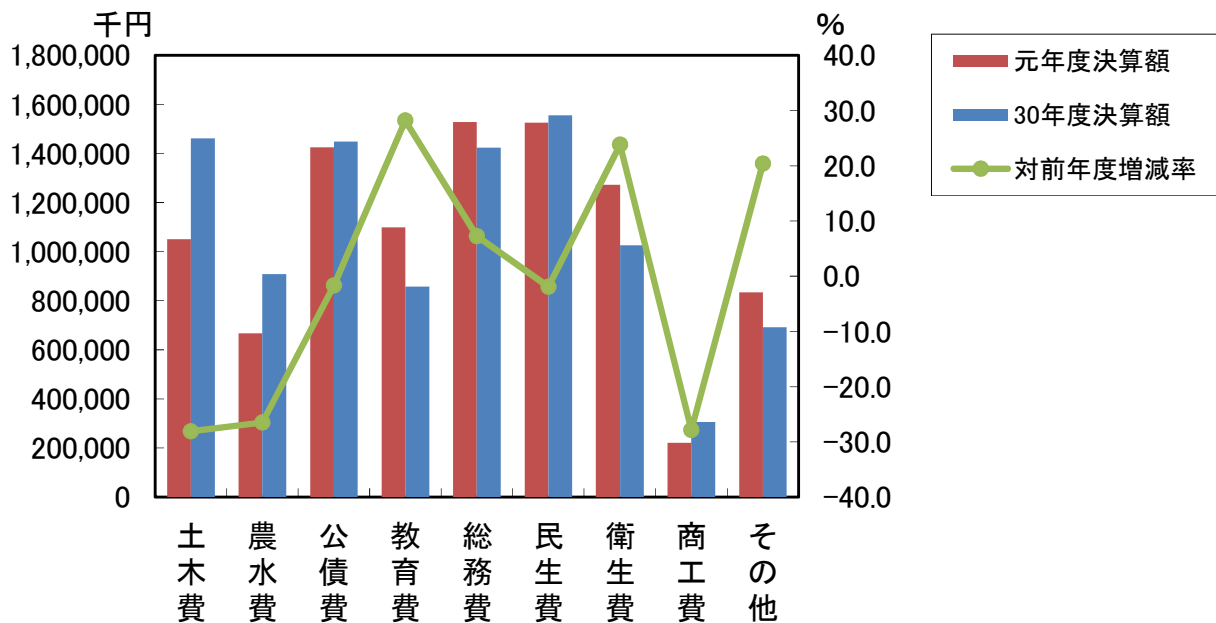
(単位:千円, %)

歳出区分	令和元年度		平成30年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 議会費	88,985	0.9	87,743	0.9	1,242	1.4
2 総務費	1,527,625	15.9	1,424,587	14.7	103,038	7.2
3 民生費	1,525,196	15.9	1,554,967	16.0	△ 29,771	△ 1.9
4 衛生費	1,271,421	13.2	1,026,403	10.6	245,018	23.9
5 労働費	14,464	0.2	7,297	0.1	7,167	98.2
6 農林水産業費	667,821	6.9	908,018	9.4	△ 240,197	△ 26.5
7 商工費	220,767	2.3	305,888	3.2	△ 85,121	△ 27.8
8 土木費	1,051,359	10.9	1,461,367	15.1	△ 410,008	△ 28.1
9 消防費	484,601	5.0	368,021	3.8	116,580	31.7
10 教育費	1,098,877	11.4	857,008	8.9	241,869	28.2
11 災害復旧費	228,177	2.4	209,756	2.2	18,421	8.8
12 公債費	1,425,230	14.8	1,449,173	14.9	△ 23,943	△ 1.7
13 諸支出金	17,817	0.2	19,896	0.2	△ 2,079	△ 10.4
14 予備費						
歳出合計	9,622,340	100.0	9,680,124	100.0	△ 57,784	△ 0.6

令和元年度一般会計目的別経費の状況



平成30年度歳出決算対前年度比較



(5) 町債の状況

収入済額は1,105,997千円で、前年度に対し88,410千円、7.4%の減となっています。減額の主な要因は臨時財政対策債や過疎対策事業債(道路コミュニティ施設・港湾), 辺地対策事業債(ブロードバンド整備, 製氷機施設)等の減によるものです。

町債の借り入れ, 償還, 現在高の状況

(単位:千円)

会 計 別	平成30年度 末現在高 A	令和元年度 発行額 B	令和元年度償還 額 C	令和元年度末 現在高 A+B-C
(一般会計)	9,101,505	1,105,997	1,393,796	8,813,706
(特別会計)	1,801,630	154,100	108,986	1,846,744
巡 回 診 療	111,656	0	17,553	94,103
国 保 直 診	0	0	0	0
船 舶	506,160	0	29,223	476,937
上 屋	18,443	18,400	1,632	35,211
農業集落排水	94,775	0	8,624	86,151
簡 易 水 道	1,070,596	135,700	51,954	1,154,342
合 計	10,903,135	1,260,097	1,502,782	10,660,450

上 水 道	692,047		34,887	657,160
-------	---------	--	--------	---------

2 令和2年度上半期財政運営のあらまし

令和2年度の補正予算を中心に上半期の財政運営状況を説明します。

(1) 予算の規模(繰越明許費は除く)

各会計の補正状況

(単位:千円)

会計別	令和2年度 当初予算額 A	9月までの補正 額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
(一般会計)	8,803,575	2,222,300	11,025,875	74.8
(特別会計)	3,520,997	191,627	3,712,624	25.2
巡回診療	313,136	62,793	375,929	2.6
国保事業	1,114,202	22,930	1,137,132	7.7
国保直診	17,750	0	17,750	0.1
介護保険	1,338,349	78,027	1,416,376	9.6
後期高齢	124,230	5,442	129,672	0.9
屠畜場	2,184	0	2,184	0.0
船舶	362,525	△ 1,135	361,390	2.5
上屋	4,879	0	4,879	0.0
農業集落排水	49,416	0	49,416	0.3
簡易水道	194,326	23,570	217,896	1.5
合計	12,324,572	2,413,927	14,738,499	100.0

上水道事業	令和2年度 当初予算額 A	9月までの補 正額 B	現計予算 A+B
収益的収入	274,740	△ 447	274,293
収益的支出	272,364	△ 883	271,481
資本的収入	2	0	2
資本的支出	81,093	△ 7,988	73,105

一般会計予算款別補正状況
(歳入)

(単位:千円, %)

会計別	令和2年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
町 税	735,553	0	735,553	6.7
地 方 譲 与 税	56,430	2,156	58,586	0.5
利 子 割 交 付 金	1,268	0	1,268	0.0
配 当 割 交 付 金	1,400	0	1,400	0.0
株式等譲渡所得割交付金	1,632	0	1,632	0.0
法 人 事 業 税 交 付 金	5,981	0	5,981	0.1
地 方 消 費 税 交 付 金	136,060	0	136,060	1.2
環 境 性 能 割 交 付 金	892	0	892	0.0
地 方 特 例 交 付 金	2,110	0	2,110	0.0
地 方 交 付 税	4,150,762	0	4,150,762	37.6
交通安全対策特別交付金	1,500	0	1,500	0.0
分 担 金 及 び 負 担 金	24,179	4,942	29,121	0.3
使 用 料 及 び 手 数 料	189,479	0	189,479	1.7
国 庫 支 出 金	1,227,430	1,328,039	2,555,469	23.2
県 支 出 金	570,013	155,772	725,785	6.6
財 産 収 入	31,612	1,100	32,712	0.3
寄 付 金	120,001	100	120,101	1.1
繰 入 金	176,769	37,665	214,434	1.9
繰 越 金	1	446,461	446,462	4.0
諸 収 入	103,406	△ 2,469	100,937	0.9
町 債	1,267,097	248,534	1,515,631	13.7
合 計	8,803,575	2,222,300	11,025,875	100.0

(歳出)

(単位:千円, %)

会計別	令和2年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
議 会 費	88,819	△ 2,478	86,341	0.8
総 務 費	1,091,610	1,523,213	2,614,823	23.7
民 生 費	1,542,976	37,636	1,580,612	14.3
衛 生 費	1,543,897	21,370	1,565,267	14.2
労 働 費	14,954	△ 94	14,860	0.1
農 林 水 産 業 費	695,150	112,025	807,175	7.3
商 工 費	197,427	70,830	268,257	2.4
土 木 費	802,916	82,938	885,854	8.0
消 防 費	336,335	△ 9,580	326,755	3.0
教 育 費	849,960	145,435	995,395	9.0
災 害 復 旧 費	119,478	241,005	360,483	3.3
公 債 費	1,483,595	0	1,483,595	13.5
諸 支 出 金	16,458	0	16,458	0.1
予 備 費	20,000	0	20,000	0.2
合 計	8,803,575	2,222,300	11,025,875	100.0

(2) 予算の執行状況

令和2年度の上半期(4月1日～9月30日)までの各会計予算の収入及び支出状況は以下のとおりです。(繰越明許費は除く)

各会計予算の執行状況 (令和2年9月30日現在) (単位:千円, %)

会計別	歳 入			歳 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
(一般会計)	11,025,875	5,494,426	49.8	11,025,875	4,181,924	37.9
(特別会計)	3,712,624	1,218,137	32.8	3,712,624	1,482,507	39.9
巡回診療	375,929	79,668	21.2	375,929	120,147	32.0
国保事業	1,137,132	412,019	36.2	1,137,132	529,666	46.6
国保直診	17,750	2,936	16.5	17,750	5,350	30.1
介護保険	1,416,376	607,158	42.9	1,416,376	538,233	38.0
後期高齢	129,672	28,202	21.7	129,672	27,795	21.4
屠畜場	2,184	245	11.2	2,184	1,191	54.5
船舶	361,390	72,501	20.1	361,390	193,610	53.6
上屋	4,879	579	11.9	4,879	2,009	41.2
農業集落排水	49,416	4,613	9.3	49,416	10,725	21.7
簡易水道	217,896	10,216	4.7	217,896	53,781	24.7
合計	14,738,499	6,712,563	45.5	14,738,499	5,664,431	38.4

(単位:千円, %)

上水道事業	収 入			支 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
収益的収支	274,293	110,197	40.2	271,481	45,443	16.7
資本的収支	2	0	0.0	73,105	36,006	49.3

令和2年度一般会計の上半期の款別執行状況は次のとおりです。(繰越明許費は除く)

一般会計予算款別執行状況(歳入) (単位:千円, %)

科 目	予算現額	収入済額	収入率
町 税	735,553	435,097	59.2
地 方 譲 与 税	58,586	15,431	26.3
利 子 割 交 付 金	1,268	217	17.1
配 当 割 交 付 金	1,400	384	27.4
株式等譲渡所得割交付金	1,632	0	0.0
法 人 事 業 税 交 付 金	5,981	1,354	22.6
地 方 消 費 税 交 付 金	136,060	109,103	80.2
環 境 性 能 割 交 付 金	892	582	65.2
地 方 特 例 交 付 金	2,110	3,340	158.3
地 方 交 付 税	4,150,762	3,132,970	75.5
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,500	455	30.3
分 担 金 及 び 負 担 金	29,121	7,789	26.7
使 用 料 及 び 手 数 料	189,479	74,926	39.5
国 庫 支 出 金	2,555,469	1,122,833	43.9
県 支 出 金	725,785	52,523	7.2
財 産 収 入	32,712	12,900	39.4
寄 付 金	120,101	23,128	19.3
繰 入 金	214,434	0	0.0
繰 越 金	446,462	446,462	100.0
諸 収 入	100,937	54,931	54.4
町 債	1,515,631	0	0.0
歳 入 合 計	11,025,875	5,494,425	49.8

一般会計予算款別執行状況(歳出) (単位:千円, %)

科 目	予算現額	支出済額	支出率
議 会 費	86,341	44,873	52.0
総 務 費	2,614,823	1,581,078	60.5
民 生 費	1,580,612	584,972	37.0
衛 生 費	1,565,267	178,014	11.4
労 働 費	14,860	7,187	48.4
農 林 水 産 業 費	807,175	215,784	26.7
商 工 費	268,257	113,988	42.5
土 木 費	885,854	226,645	25.6
消 防 費	326,755	166,720	51.0
教 育 費	995,395	397,875	40.0
災 害 復 旧 費	360,483	50,379	14.0
公 債 費	1,483,595	701,972	47.3
諸 支 出 金	16,458	0	0.0
予 備 費	20,000	0	0.0
歳 出 合 計	11,025,875	4,269,487	38.7

3 町有財産の状況

町有財産には公有財産、物品、債権及び基金が含まれますが、これらの町有財産の管理については条例や規則によってそれぞれの管理がなされています。その概要は以下のとおりです。

【一般会計】

i) 公有財産

(1) 行政財産

① 土地及び建物 (単位: m²)

区 分		土 地	建 物
本 庁 舎		2,771.76	4,315.83
その他の 行政機関	消 防 庁 舎	9,986.96	1,779.57
	その他の施設	794.94	89.87
公共用 財産	学 校	120,218.28	40,797.00
	公 営 住 宅	54,564.44	37,754.85
	公 園	122,406.08	325.72
	その他の施設	222,721.99	31,799.29
計		533,464.45	116,862.13

(2) 普通財産

① 土地及び建物 (単位: m²)

建 物		2,422.55
土 地	宅 地	30,780.03
	田	3,480.00
	畑	17,447.19
	原 野	4,546,823.44
	山 林	6,378,674.78
	雑種地	83,167.21
	墓 地	78,817.90
	保安林	754,582.75
計		11,896,195.85

林 野	11,680,080.97
-----	---------------

(原野+山林+保安林)

② 有価証券 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
株 券	14,140

③ 出資による権利 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
出資証券	320,743

ii) 物 品

区 分	台 数
普 通 乗 用	6
普 通 貨 物	7
小 型 乗 用	14
小 型 貨 物	11
マ イ ク ロ バ ス	0
消 防 車	14
特 殊 用 途 車	13
大 型 特 殊 車	2
小 型 特 殊 車	19
軽 (四 輪 貨 物)	35
軽 (四 輪 乗 用)	19
船 舶	3
原 付	2
合 計	145

iii) 基 金

(単位:千円)

区 分	現 在 高
財 政 調 整 基 金	預 金 現 金 1,500,000
地 方 債 管 理 基 金	預 金 現 金 169,000
高 額 医 療 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 2,774
	債 権 0
奨 学 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 6,960
	債 権 24,454
肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 7,609
	物 品 28,542
地 域 振 興 基 金	預 金 現 金 3,922
地 域 福 祉 基 金	預 金 現 金 955
ふ る さ と 水 と 土 保 全 基 金	預 金 現 金 10,000
教 育 振 興 人 材 育 成 基 金	預 金 現 金 1
青 少 年 育 成 基 金	預 金 現 金 937
公 共 施 設 維 持 管 理 基 金	預 金 現 金 291,138
土 地 開 発 基 金	預 金 現 金 27,591
	不 動 産 0
大 学 入 学 一 時 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 38,946
	債 権 4,795
ふ る さ と 応 援 基 金	預 金 現 金 54,803
特 別 産 業 振 興 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 10,914
特 別 水 産 業 対 策 基 金	預 金 現 金 10,000
特 別 肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 8,167
	物 品 1,840
酒 造 用 含 み つ 糖 生 産 対 策 補 給 基 金	預 金 現 金 2,439
災 害 対 策 準 備 基 金	預 金 現 金 3,699
森 林 環 境 譲 与 税 基 金	預 金 現 金 835
計	2,210,321

【特別会計】

i) 公有財産

(1) 公有財産

① 土地及び建物

(単位: m²)

区 分	土 地	建 物
巡回診療施設会計	1,760.79	1,772.13
国民健康保険会計	601.01	119.56
屠畜場事業会計	0.00	538.99
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	161.50
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
簡易水道事業会計	14,285.00	0.00
計	18,993.28	3,337.70

② 動 産

区 分	現 在 高
船舶交通事業会計	2隻(284.00トﾝ)

(2) 行政財産

① 土地及び建物

(単位: m²)

区 分	土 地	建 物
巡回診療施設会計	1,760.79	1,772.13
国民健康保険会計	601.01	119.56
屠畜場事業会計	0.00	538.99
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	161.50
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
簡易水道事業会計	14,285.00	0.00
計	18,993.28	3,337.70

ii) 物 品

区 分	現 在 高	
巡回診療会計	車 両	6台
	レ ン ト ゲ ン	2台
計	8台	

iii) 基 金 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
国民健康保険基金	222
船舶建造基金	4,780
介護給付費準備基金	87,071
計	92,073